

# コミュニケーション麻雀について



コミュニケーション麻雀セット内容



- 牌の大きさ : 10 cm×7 cm×5 cm (通称: タワシサイズ)
- 牌の重さ : 1個あたり約238g (リハビリテーションに丁度良い重さ)
- 牌の材質 : 竹製 (麻雀大好きな方も思わず唸る)



制作者 コミュニケーション麻雀協会	
内 容	数 量
1. コミュニケーション麻雀牌	136個
2. 予備牌	2個
3. 専用サイコロ	2個
4. 専用マット	36枚 (組み合わせ式)
5. 専用ボックス	3箱に分けて収納

種類	内訳	読み方	数	
まんず	1万~9万	いーまんなど	4個ずつ	36
ぴんず	1ピン~9ピン		4個ずつ	36
そうず	1そう~9そう		4個ずつ	36
字牌	東	とん	4個ずつ	4
字牌	南	なん	4個ずつ	4
字牌	西	しゃ	4個ずつ	4
字牌	北	ぺい	4個ずつ	4
字牌	白	はく	4個ずつ	4
字牌	發	はつ	4個ずつ	4
字牌	中	ちゅん	4個ずつ	4
合計				136

## 準備するもの

- ① 長机 4台 ②椅子 8～12脚 ③コミュニケーション麻雀セット（牌 136個、サイコロ 2個）

## ゲームをする前に

- ① 2人（又は3人）1組のペアになる。  
② ペアで相談し、好きな席に座る。  
③ 牌を積む（自分たちの席の前に、横 17枚 2段の牌を積む）  
④ 親を決める（ペアごとに1人1個ずつサイコロを振り、合計数の一番大きいチームが親になる）

## ゲームの準備をする

- ⑤ 親がもう一度サイコロを振り、出た目の数を数える。  
⑥ 親の前の牌山の右側からサイコロの数ぶんだけの牌、次の牌から4枚ずつの牌を牌山から左側へ順にとり、自分のチームに取り、右隣のチームへ順に4枚ずつ配る。

## ゲームを始める

- ⑦ 親が1枚の牌を捨てることからゲームスタート  
親から右隣へ、反時計回りで、牌を牌山から1枚とって、1枚捨てる。これからあがるまで続ける（捨て牌は左から右へ並べて捨てる）  
※あと1枚でそろった状態になったら、2人で「リーチ」と言う。（リーチは必ずかける）  
※リーチをした後は、持っている牌を変更できない。  
※上がり方：手持ちは13枚、14枚目を牌山から取ってそろったら、「ツモ」あがり  
人が捨てた牌であがったら、「ロン」あがり

### 「ツモ」・「ロン」は2人で声を合わせて～

※親が上がったら続けて親、上がらなければ右隣に親が流れ移る。

※役はありません。何で上がっても1000点

※ポン・チーはできません。